

そうべつ 議会だより



そうべつシードルお披露目会

■ 第1回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 委員会レポート	9
■ 予算審査特別委員会	10
■ 薫風	18

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会

(TEL 66-2121 · FAX 66-7001)

No. 61

■ 2016年5月 ■

定例会のあらまし

議案審議

定住促進・まちづくり推進事業を実施！

平成28年第1回定例会は、3月3日から11日までの9日間の会期で開催されました。5名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。平成28年度壮瞥町一般会計予算のほか、議案26件、発議案1件、意見案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回定例会

専決処分の承認（平成27年度壮瞥町簡易水道事業特別会計補正予算（第8号））

修繕料
26万7千円追加

質疑
27年度は水道管からの漏水が多く、その都度修繕をしているが、抜本的な改善が必要ではないか。

答弁
久保内地区の漏水が例年になく多かったが、耐用年数を過ぎていたわけではない。久保内地区については、27年度に管路改善調査を実施しており、28年度に水道施設改

善工事を実施する予定で、さらに、全町的な管路改善を検討することにしており、慢性的な漏水に対応したいと考えている。

壮瞥町行政不服審査会条例の制定

行政不服審査制度は、行政処分に対する住民の不服申し立ての制度であるが、法律改正があり、公正性・利便性向上の観点から、審理員が間に入って審査請求人及び行政の主張を公正に審理することとなった。

質疑
審査会委員の選任について条例では「法律又は行政に関して優れた見識を有する者のうちから、町長が委嘱する。」となっており、町内で専門的



第1回定例会の様子

知識を持っている方を探すことは難しいと思うが、どのように考えているのか。

答弁
審査会委員については、情報公開・個人情報保護審査会委員等をお願いすることも考えている。

また、複雑な案件によっては、弁護士、税理士等の専門家も専門委員として参加できることになっており、総務省を通じて情報提供を受けている。

壮瞥町堆肥センター設置及び管理に関する条例の一部改正

有機資源の処理手数料を無料にしたことと、堆肥センターで製造された堆肥の販売価格を改定する内容。

堆肥販売価格改定後

製品堆肥の種類		町内	町外
畜ふん堆肥	バラ	3,000円/m ³	6,000円/m ³
	袋詰(40ℓ/袋)	500円/袋	600円/袋
	袋詰(20ℓ/袋)	400円/袋	500円/袋
生ごみ・汚泥堆肥	バラ	2,000円/m ³	-

質疑
過去に、町外から水分量が多い野菜残渣を処理した経緯があるが、処理手数料を無料としたことで、それらを処理してほしいという要望が出るのではないかと。

平成28年 第1回

【答弁】
町内から出た生ゴミ等は受入れるが、町外から受入れることは考えていない。

【質疑】
新たに町外の方にも堆肥を売るということであるが、どの程度の需要があると考えているのか。
また、町外に売る範囲は。

【答弁】
今まで実績がないので、町外需要について明確に判断することはできない。
販売エリアは、とつや湖農協管内を想定している。

【質疑】
一般的な施肥指導の目安はトン単位でされていると考えられるが、販売単位をトン表記からm表記にすると、施肥管理の現状にそぐわないのではないか。

また、袋詰め堆肥の値段について、40ℓと20ℓとの価格差をもっとつけても良かったのでは。

【答弁】
施肥量の目安がトン表記であるから、販売単位もトン表記でなければならぬとは考えていない。



久保内未来塾の様子

堆肥は、製造する時期によって水分量が上下することから、水分量が多いと重さも重くなり、逆に少ないと軽くなる。問題なのは含まれる成分量の確保であり、成分量を均一にしたいと考えている。
農協からも、成分量を均一にするためのm表記なので、購入農家からすれば、水分量が左右されるトン表記よりむしろ公平であり、販売の際に目安としてm数をトン換算することで対応は可能との回答をいただいている。
袋詰め堆肥の値段の設定については、バラ堆肥の値段を上げたので、袋詰めはワンコインで買えるようにした。
価格は抑えたが、1トン当

たりで計算すると約3万円となり、バラ売りよりも利益率は高い。

平成27年度壮警町一般会計補正予算(第20号)
7062万7千円減額

補正後の予算総額
43億4278万7千円

通知カード・個人番号カード関連事務負担金
45万8千円追加

【質疑】
マイナンバーカードの活用方法は。

【答弁】
主に税の申告や源泉徴収票を出すために番号が必要なことから、職場への報告に使う。それ以外の活用については、近隣市町の動向やカードの交付状況に注視しながら、考えていきたい。

低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金事業
1455万円4千円追加

【質疑】
この事業内容は。

【答弁】
国の予算を活用して行われる事業で、「一億総活躍時代」の実現のための賃金引上げの恩恵を受けにくい高齢者の支援が目的で、給付額は一人当たり3万円である。
支給対象者は、27年度に臨時福祉給付金を受けた対象者の内、28年度中に65歳以上になる方である。
できるだけ早く準備を行い、早い段階で支給したいと考えている。

【意見書】
所得税法第56条の廃止を求める意見書について採択しました。

第2回臨時会

第2回臨時会は、3月25日に開催され、専決処分の承認(平成27年度壮警町一般会計補正予算(第21号、第22号))、(平成27年度壮警町簡易水道事業特別会計補正予算(第10号、第11号))の4件と、平成27年度壮警町一般会計補正予算(第23号)の計5件を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

質問

Q & A



壮女連の健康講座の様子

【健康で安らぐ生活の暮らしづくりの実現のため】

Q 認知症対策の
具体的取り組みは

A 認知症地域支援推進員の
配置・資料作成・配付



佐藤 恣

議員
近年認知症対策が福祉施策の中で大切な位置を占めているが28年度に配置する「認知症地域支援推進員」の役割は。

住民福祉課長

介護と医療の連携強

化の推進役として、24年度から全国の市町村に設置されており、認知症の方や家族の方の相談や必要に応じて医療や介護が受けられるように、医療機関や福祉機関との連絡調整を担うために配置する。

議員

28年度に認知症資料の小冊子の発行を予定しているが、その内容と発行時期は。

住民福祉課長

認知症理解のために、症状の状態に応じて受けられるサービスが相談機関などを内容とし、夏ごろまでに発行したい。

Q 成人・高齢者男性の
認知症理解促進を

議員

年々、認知症を患う方が増加

しているが、壮警町の現状は。認知症に対しての成人・高齢者男性の理解不足があるが、この対策は。

住民福祉課長

認知症の現状把握は、介護申請時の医師の意見項目で把握しているが、増加傾向にある。認知症について理解を深める

ためにサポーター養成をしているが、家庭内での良き理解者のためにも、出来るだけ男性も参加する学習会を開催したい。

Q 健康寿命の人生を
保健師は住民と
密着した関係を

議員

壮警町の女性は長寿である反面、町民一人あたりの療養医療費給付額は北海道でも上位であり、健康寿命の人生が必修と考えるが、町長の考えは。

町長

町に住むすべての皆さんが、健康でいつまでも住み続けるための町政を推進するためにも健康寿命を高めることが大切であり、そのためにも保健師は住民と密着した関係を保ちながら活動していくことが大切である。

議員
平成27年度にスタートした「壮警町高齢者福祉計画」の実施内容は。
町長
「第6期壮警町保健福祉計画」の「いきいきと健康で安心して暮らせるまちづくり」の実現のために各種事業に取り組んだ。

議員

従来からの事業「健康づくり

・介護予防」「在宅生活の支援」

「住生活の整備」に努力、認知

症地域支援推進員の研修、認知

症サポーターの養成、介護保険

制度の改正に向け、研修会、会

議等で職員の定期的な打ち合わせ等、情報収集や体制づくりに

努めた。

議員

27年度で取り組んだ具体的な内容は。

住民福祉課長

健康づくり・介護予防では、生活習慣病検診、転倒予防教室等の開催。

在宅生活支援は、配食サービ

ス、ふれあい友愛訪問、車椅子

生活者への援助。

住生活の支援で、介護保険制

度でまかなえない部分を町独自の取り組みで実施した。

【北海道新幹線開業】

Q 本町への誘客活動は

A 首都圏で観光PRを実施



高井 一英

として次年度の展開については議論を進める。

議員

広域連携で取り組んだ特産品や加工品のPRの取り組みについて。

町長

首都圏のトップセールスなどでも本町のスイーツや果樹をPRし、「くだもの里・壮瞥町」を強くアピールしたところであり、平成28年度においても、函館市で開催される北海道新幹線開業記念イベント等に

出展し、引き続き、本町の特産品や加工品のPRを行っていく考えです。

議員

来町してくれた観光客に対する観光PRと情報提供について。

商工観光課長

そつべつ情報館の情報発信機能強化を図るため、現在、地方創生交付金を活用して展示機能等のリニューアルにむけた調査・検討を進め、アピール力の高い施設にしていきたいと考えております。

議員

観光客の情報発信に情報館と昭和南山にWi-Fi設置して情報発信する取り組みができればいいか。

商工観光課長

情報館では観光協会や開発局の取り組みでWi-Fiの環境が整った。

昭和南山地区では数件の店舗で対応しているが、観光客が回遊する外でのWi-Fiの環境は具体的に考える。

※用語説明

Wi-Fi

無線通信を利用してデータの送受信を行う規格の一つ。

議員

広域連携で取り組んだ観光PRと二次交通機関の取り組みについて。

町長

本町では、北海道新幹線開業にあたり、西胆振の行政・観光協会等で構成する北海道登別洞爺広域観光圏推進協議会や、胆振・日胆管内の行政・観光協会・商工会等で構成する北海道新幹線×nittan(にったん)地域戦略会議の構成団体として、圏域自治体と連携しながら昨年は、首都圏の旅行会社を対象とした西胆振圏域の首長全員によるトップセールス、横浜市内の学校を対象とした教育旅行誘致活動などを行ったほか、各種イベント等を通じて幅広く観光PR活動を展開して参りました。また、二次交通の整備について

議員

壮瞥町と洞爺湖町で冬場に運行したカルデラ号とジオパーク号の利用者の状況を踏まえて次年度も運行を考えているのか。

商工観光課長

北海道観光機構の補助金を活用して、カルデラ号は2月中旬の3日間運行し、乗車数は174人で昭和南山や洞爺湖周辺の交通機関として好評であった。

ジオパーク号は1週間運行し、乗車数は25人で昭和南山や虻田・伊達の道の駅を回る交通機関



国道453号蟠溪道路開通

質問

Q & A



昭和新山国際雪合戦

【壮瞥町におけるガン対策について】

Q 胃がん対策のピロリ菌
検診導入の考えは

A 医師会との協議を含み
今後の検討課題としたい



菊地 敏法

めての取り組みが必要
ではないか。

町長

胃がん検診でのピロリ菌感染の検診導入ですが、現在、胃がん検診は、伊達赤十字病院協力をいただいで実施しているが、今の段階

ではピロリ菌の集団検診の対応ができない状況にあるため、町の検診において、ピロリ菌感染の検診を進めるのは難しい状況にある。

議員

町で行っている生活習慣病健診の中であれば、札医大の協力のもと検査は可能ではないか。

住民福祉課長

生活習慣病健診での血液検査は、札幌の業者に送り検査している。

その業者でもピロリ菌検査は行っている。

仮に検査を実施したとして、陽性反応が出て、2次検査、除菌治療となったとき、協力病院が必要となるが、対応が整っていない。

議員

早い段階からのピロリ菌除菌

が、がん予防に大きな効果が上がると言われており、中学生を対象とした感染検査／除菌までの取り組みが増えている。

近隣の状況は、27年度から豊浦町、28年度からは苫小牧市、室蘭市、登別市で実施することになっている。

壮瞥町でも中学生を対象とした取り組みをするべきと思うが。

住民福祉課長

管内では尿検査での実施と聞いている。

胆振管内の学校の尿検査を行っている業者は同一で、中学生を対象としてピロリ菌の1次検査の実施は可能と思うが、陽性反応が出て、2次検査が必要になった時に、協力医療機関が整っていないため、医師会等との今後の協議も含め検討したい。

議員

「ピロリ菌」除菌が胃がん予防の大きな流れになっている。環境が整っていないかもしれないが、町民の命を守る観点から、また、将来的に医療費の抑制にもつながるものと思うが、今後ぜひ積極的に進めて頂きたい。

町長

大変重要な問題と受け止めて検討させて頂きたい。

議員

「がん」の7割以上が早期がんだと言われている。

壮瞥町でも6つのがんの検診を毎年行っているが、その実態と課題は。

町長

26年度の検診実績では、胃がん152人、大腸がん219人、肺がん764人、乳がん106

人、子宮がん124人、前立腺がん75人となっている。

受診率では、胃がん13・2%、大腸がん19・3%、肺がん64・4%、乳がん26・9%、子宮がん24・9%となっている。

課題は、若年層への働きかけと、受診率の向上と認識している若年層の受診の状況として、胃がん検診では60代の検診率が21・3%に対し、30代では5・9%であり、大腸がん検診では60代の検診率が28・9%に対し、30代では胃がんと同じ5・9%である。

受診率向上の取り組みとしては、5歳きざみの無料クーポンによる受診の勧奨や、一度も受診していない方への呼びかけなどを行っている。

議員

胃がん検診の中に「ピロリ菌」感染の検診導入、また除菌を含

【公の施設「横綱北の湖記念館」の機能強化(USN)】

Q 施設の機能強化に向けた取り組みは

A 効果的な展示内容の検討



森 太郎

後援会関係者と女将さんの話の中では、部屋を改造し、親方の遺品を展示する意向も持っているようだ。将来的には一部寄贈いただける意向もあると聞いている。
具体的施設整備は、委託事業の結果を見ながら検討。

議員 公の施設「横綱北の湖記念館」の課題となっている事項は。

町長

歴史的な郷土資料と、郷土の誇りである北の湖親方の偉大な足跡を後世に語り伝えていく施設として建設されたが、経年により、展示の状況が若い世代や国内外からの誘客に活用できる展示方法になっていない。
現在、展示の仕方を検討するための基礎調査を進めており、効果的な展示内容にしたい。

議員 記念館内に展示されている火山関係の資料と、水力発電関係資料の整理の方向性は。

総務課長

後世に引き継ぐ郷土資料には火山関係の資料もあるが、情報館との役割分担の中で整理。
水力発電のタービン展示は、発電所が町の歴史の一つであり、調査結果の中で検討。



北の湖親方を偲ぶ会

議員 親方の死去が展示品収集や施設整備に与える影響は。

町長

親方関係の展示品は、親方から借用したものや町が制作したもの、町が購入した写真等がある。
借用しているものについては、今後、親族の方との協議が必要なものもあるが、昨年12月の相撲協会葬の際、部屋を訪問した

Q 道内の各相撲記念館との連携は

A 相乗効果が図れるようなPR、連携を検討。

議員

観光振興・集客ツールとしての活用と整備の視点は。

町長

記念館は日本の文化である相撲を紹介できる施設としてPRすることにより、広く誘客できる施設である。
札幌圏にも近く、洞爺湖温泉、昭和新山地区と町内の観光果樹園等への誘導、又、登別温泉と洞爺湖温泉の間であり、この地域を訪れる観光客、特に外国人観光客も多いことから、地域内の観光施設との連携を図れる可能性のある施設と認識している。

他の記念館との連携は、これまで行っていないが、お互いに相乗効果が図れるようなPRの仕方など、連携した取り組みができるのであれば、進めていきたい。

議員

近年の観光施設は見る観光から体験型に変わっている傾向に

あると思うが、体験的施設整備の考え方は。

総務課長

必要な視点であるが、施設の大きさもあり、可能か検討する。

議員

近年、道内出身の力士が減少傾向にあるが、展示や他町村出身の力士紹介コーナーが検討できないか。

総務課長

出身地からの来館者を増やすための工夫として検討したい。

議員

入浴施設「ゆーあいの家」との相乗効果を期待して、入浴施設を「北の湖温泉」に名称変更する考えは。

総務課長

温泉施設の名称としては「ゆーあいの家」が一般的であり、名称使用にあたっては権利的な制約もあるので判断できないが、利用増や住民サービスに有効であれば、検討。

議員

道内にある他の相撲記念館との連携については。

総務課長

他の記念館との連携は、これまで行っていないが、お互いに相乗効果が図れるようなPRの仕方など、連携した取り組みができるのであれば、進めていきたい。

いっぱん質問 Q & A

「シチズンシップ教育について」

Q 小・中・高校でどのような取り組みを行っているか

A 各校で授業を通じて学んでいる



毛利 爾

が、時間的に開催するのは厳しい状況にある。

議員

この夏の参院選から18歳選挙権が適用されるが、高校においてどのような指導や対応を取られているか。

生涯学習課長

昨年12月、選挙啓発高校生出前講座が開催され、生徒向け副教材等の活用方法や模擬投票を教職員が視察し、これを参考に今年3年生を対象として開票作業等を体験した。

議員

今年には選挙年齢が引き下げられて最初の年、若者からも不安や戸惑いも聞かれる。今後より充実した主権者教育をお願いしたい。

教育長

この度の選挙制度改正は、前回から70年目の改正であり重要な出来事と認識しています。学校は中立性を確保しつつ、



久保内小入学式

議員
シチズンシップ教育の一つである「主権者教育」を小中高の各学校においてどのような取り組みを行っているか。

教育長

社会科を中心に、憲法の基本理念である国民主権や国民としての権利及び義務などについて理解を深められるよう指導を行っている。

小学校では、憲法や政治の仕組み、選挙については投票の仕方や投票率等を学び、また児童会活動でも行っている。

中学校では、選挙権の確立や参政権、選挙と政党などを学習し、壮警町子ども議会の取り組みを通じて議会制民主主義の意義を学び、生徒会役員選挙を通

して仕組みなどを学んでいる。

高校においては、社会・法・経済・国際社会などについて、多様な角度から理解を深めるとともに、民主政治における個人と国家についての考察や政治参加の重要性を自覚させることをねらいとした取り組みなどを行っている。

高校では生徒会はなく、農業クラブ活動での生徒の自主的・実践的な教育活動を行っている。

議員

高校においても年一回の子ども議会を開催する考えはあるか。

生涯学習課長

農業科高校としての実習活動等もあり、主権者教育についてもホームルーム等で対応してい

※用語説明

シチズンシップ教育

市民としての資質・能力を育成するための教育。

現実の具体的な政治的事象も取り扱い、生徒が有権者として自ら判断し、権利を行使できるような具体的かつ実践的な指導を行うことが求められている。
今後現代社会人として必要な資質（知識・意識・技能）、政治的教養を育成する教育の充実を図っていく。

委員会レポート

経済常任委員会

YFC壮瞥との懇談会



YFC壮瞥との懇談会の様子

経済常任委員会では2月8日、町内若手農業者で組織されている

YFC壮瞥と懇談会を実施し、組織の概要及び活動内容について説明を受け、その後会員の皆さんとの懇談を行いました。

YFC壮瞥は、農業改良普及センターの職員が壮瞥町に若手農業者のグループを作ろうと声かけしたのが始まりで、2012年に設立されました。

現在の会員数は、20代から30代前半を中心に15名となっております。

活動として、大学生の農業体験学習の受け入れや直売活動、加工実習、先進地視察等を行っています。

会員からは、今後の壮瞥町の農業は自分たち会員世代が中心となって担って行くことを考えるよう、とても不安がある。

親世代が引退したあとの農地の

活用方法等をどの様にしていくか、町や議会と一緒に考えていく必要があるとの話がありました。

また、今後は経営者となることから、経営学について学ぶ機会を設けるための支援をお願いしたいとの発言もありました。

このほか、堆肥センターで製造された堆肥の活用方法や、有害鳥獣対策に係る鹿の一斉駆除等についての意見交換を行いました。



工事発注状況

平成27年11月から
平成28年2月までの発注分

()内は予定価格

- 子育て応援住宅壮中西側A 3棟物置等設置工事
1,512,000円(1,544,400円)
道栄建設(株)
- 子育て応援住宅壮小西側B 2棟物置等設置工事
1,512,000円(1,587,600円)
(株)中山工務店
- 子育て応援住宅壮小西側B 3棟物置等設置工事
1,188,000円(1,220,400円)
道栄建設(株)
- 仲洞爺集落排水処理施設機器修繕工事
5,670,000円(5,959,440円)
水ing(株)北海道支店
- 町道不動線側溝改修工事
1,080,000円(1,090,800円)
壮建興業(株)

議会を傍聴しませんか！

町議会（定例会・臨時会）は、誰でも傍聴することができます。

事前の手続きは一切不要ですので、お気軽にお越しください。

日程等、詳しくは議会事務局
(電話66-2121)までお問い合わせください。

50億300万円

予算審査特別委員会

3億9640万円減

今年も道から職員派遣

■平成28年度各会計予算状況

区分	28年度	27年度	増減
一般会計	3,766,000千円	4,171,000千円	△405,000千円
国民健康保険特別会計	515,400千円	478,000千円	37,400千円
後期高齢者医療特別会計	43,400千円	44,900千円	△1,500千円
介護保険特別会計	326,600千円	330,000千円	△3,400千円
簡易水道事業特別会計	138,000千円	149,000千円	△11,000千円
集落排水事業特別会計	213,600千円	226,500千円	△12,900千円
合計	5,003,000千円	5,399,400千円	△396,400千円

平成28年度予算総額 50億300万円を可決!!

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「平成28年度壮瞥町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月9日から11日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、11日の本会議で可決しました。

一般会計

歳出

総務費

一般管理事業

道職員派遣交流負担金

1000万円

質問

道職員の派遣を受けて、洞爺湖・長流川の水利権の更新や、農業用水路の老朽化の実態調査等を行ったと思うが、その達成状況は。

知識、技能、経験を要する農業事務について、今後も停滞を期さないよう自前職員で対応できるのか。

さらに、今年度も同じ予算が計上されているが、どの様な方を派遣要請するのか。

答弁

25年度から3年間、道より職員を派遣して頂き、農業基



雪合戦カナダチーム

盤整備については実態調査等を踏まえ、詳細な長寿命化計画を策定した。

懸案の農業水利権の更新については、12件が未更新であった内、廃止3件で手続きは終了し、3件は申請済みで完了予定となっている。

残り6件については、現状とかなりかけ離れた水利権で

あり、専門的知識が必要な案件であることから、再度道に職員の派遣要請をしている。

公用車運行管理経費

131万円2千円

質問

今年度町長車の入れ替えを行うが、現在の車両の年式と走行距離、今後購入する車の車種は何か。

答弁

16年車で走行は約16万km、マフラーやエンジンの不具合等があり購入をするもので、購入車両は7人〜8人乗りのワンボックスカーを予定している。

職員研修事業

122万3千円

質問

今年度は人事評価の研修費（昨年度100万円）が計上されていないが、人事評価制度（技術・方法）が確立されたという認識でよいのか。

答弁

人事評価制度は、本年4月以降に導入し、実施しながら壮瞥町にあった制度にして行きたいと考えている。

町民交通傷害保険料

4万9千円

質問

町民交通傷害保険の加入状

一般会計・特別会計予算総額は 前年比

自治会と町が管理している街路灯をLED照明化

況と利用実態は。

【答弁】

27年度の加入は54件と園児児童生徒の部分で252件あり、全体で306件である。利用実態として26年度は2件あったが27年度は無い。

行政評価委員会委員報酬

12万円

【質問】

新たな行政評価の仕組みとして「外部アドバイザー」の導入と、事務事業全般の評価ではなく「地方版総合戦略」に示された政策をそのまま評価対象とし、PDCAサイクル見直しの評価表を用いて評価を行うのか。

【答弁】

事業によっては数値目標がなじまないものもあると思うが、基本的に「地方版総合戦略」の評価表を用いて、政策の評価・検証・見直し作業を進めたい。

行政不服審査会委員報酬

4万円

【質問】

5名以内、町内から選出する委員を想定しての予算計上だと思うが、専門的知見を有する委員の活用を考えた時には、この金額では対応できないのではないか。

【答弁】

委員5名分で1人4千円の

2回分を見ており、予算では町内だけの委員の想定だが、議案審議の中でも専門的知見を有する委員の必要性の指摘があり、再度検討したいと考えている。

修繕料

北の湖記念館内部修繕工事

180万円

【質問】

どのような発注内容で、どのような業者を選定する予定なのか。

また、町内から幅広く意見聴取する考えはないか。

【答弁】

ストーリー性を持たせた展示方法に変えていきたいと考えており、展示だけではなく施設の設計まで出来る業者を選定したいと考えている。展示内容については、関係団体との意見を聞きながら決めていきたいと考えている。

森と木の里センター 階段改修工事

365万円

【質問】

昨年度のセンターの利用状況はどうか。

【答弁】

アニメで紹介されたのをきっかけに26年度・27年度と利用者が大幅に増えている状況にある。

【質問】

バンガロー等、センター施設の老朽化対策は。

【答弁】

27年度にバンガローとセンターの内部の改修を行っている。外壁の部分については計画的に改修していきたいと考えている。

仲洞爺キャンプ場内 灯設置工事

300万円

【質問】

電灯をLED照明に変えるが、街路灯のLED導入事業に組み込むことが出来なかったのか。

【答弁】

小さな電灯の設置の為、街路灯のLED導入事業にはなじまないことから単独での費用とした。

コミュニティFM放送 局事業負担金

252万8千円

【質問】

中継局経費の中にプラットフォーム設置工事費の約13万円が計上されているが、工事の内容と、中継局の建設当初には考えられなかったのか。

また、昨年アンケート調査を実施したと思うが、その結果とそれを踏まえた新たな取り組み考えは。

【答弁】

工事の内容は、停電の際に発電機を置くための台で、当初は考えていなかった。

アンケート調査については回答数が77件と非常に少なく、まだまだ浸透が図られていない状況であり、いろいろな機会を通してPR活動を行ってきたいと考えている。

また、聞きづらいつの回答もあり、実態調査も合わせて実施する。

LED照明導入調査 業委託料

800万円

【質問】

800万円をかけて調査委託することが妥当なのか。

自前で出来るように感じるが、内容について伺いたい。

【答弁】

現在は手書き図面の台帳で管理しており正確でないため、デジタル化してデータ管理できるように外部委託を行うもの。

【質問】

街路灯のLED照明導入の具体的な内容は。

【答弁】

現在の街路灯はほとんどが水銀灯で、2020年で製造が中止になること、また電料の高騰を受けて、全部で450基ある内430基をLED照明にするもの。

工事はリース会社が行い、

扶助費の増加に対応

ふるさと納税 好調

質問 その後町が10年間リースする。総体工事費とリース料は概ねいくらになるのか。10年間のリース終了後は無償譲渡になるのか。

また、故障等のメンテナンスの内容は。

答弁 総体工事費は5千百万円で、リース料は年間480万円。リース期間終了後は無償譲渡される。

また、メンテナンスについては100%リース会社が行うこととなる。

※用語説明

PDCAサイクル

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。

企画費

地域公共交通対策事業

1381万5千円

質問 コミュニティタクシーの運行実績と利用者からの改善要望は。

答弁 26年度が延べ5706人で、27年度は6200〜6300人となる見込み。

改善要望として、一部に土日運行の声もあるが、細かい要望は少なくなっている。

定期的に事業者との意見交換も行っており、新年度は運営内容を変更せず継続実施する。

ジオパーク推進経費

405万7千円

質問 ジオパーク推進協議会として、新年度の主な予定事業の内容と、日本ジオパーク再調査の内容は。

答弁 また、27年度事業の地方創生交付金でジオパーク情報館発信資料作成委託料500万円が計上されていたが、その進捗状況は。

マイスター制度運営やガイド活動の支援に加え、食の関連事業としてジオの恵みと、ピザやホットサンドの事業を継続する。

28年度は日本ジオパーク認定の再審査があり、審査員2名が当地域を訪れ、29年度には世界ジオパークの審査も控えている。

地方創生関係では、27年度事業で情報館2階の火山防災学び館の展示品の充実を図るため、展示用ガラスケースの購入や、壮瞥と有珠山、昭和南山の位置関係がわかる航空写真を拡大したものを床に設置する。他には、1977年や2000年噴火時の記憶を風化させないため、主な出来事を含めた写真集を作成して

おり、完成後全戸配布したいと考えている。

ふるさと納税特産品

500万円

質問 28年度はどのような取り組みで納税額向上を目指しているかと考えているか。

また、返礼品の種類は。

答弁 昨年は制度改正を行い、事業者の参加を増やしたことで納税額も増えたが、今後の納税額拡大に向けては、返礼品のメニュー、供給量が課題となる。

昨年は6事業者の参加であったが、今年度は秋、冬のリングに限らず、その他の果樹も含め、事業者及び供給量も増やしたいと考えており、3月か4月頃に事業者説明会を開催する予定している。

北海道新幹線×nittan 地域戦略会議負担金

3万円

質問 3月に新幹線が開通するが、今後どのような協議、活動を進めて行くのか。

答弁 3月の開通後も日胆地域のPRを継続していくもので、28年度は、函館で開業を記念して開催されるイベントへの共同出展や、昨年に続き森町

と室蘭の間で試験的なクルーズ運行を行い、モニターツアーを実施する。

また、旅行エージェントや地域の若者とタイアップした商品開発、広報宣伝等に取り組み。

全体事業費は2千万円程度で、今まで4市の負担金と交付金の活用で事業を行っていたが、今後は、残りの14町にも負担金を求めて事業を行う。

定住促進・まちづくり 推進事業

1696万2千円

質問 新規事業として行われるタウンプロモーション事業の内容は。

答弁 本町には良い資源があり、良い施策も進めているが、それをうまく町外に伝えていかなければ来訪者数増、移住希望者増にはつながらないとの観点から、情報処理、広報戦略の知識、経験を有する「地域おこし協力隊」(嘱託職員)が事業推進の中核となっており、広報戦略活動を進めていくこととするもの。

今年度は、地方創生交付金を活用してWEBサイトの作り直し、北の湖記念館、道の駅等、情報発信に関わるものを統一性をもって拡張していく、プロモーション活動のツールの充実を図り、29年度が

介護給付・訓練等給付費

保健センター改修工事を実施

らはそれを使って町を売り込んでいきたい。
また今年度は、官民連携による統一のブランドデザイン作成、媒体の整備、プロモーションに活用していく画像の収集、整備されたWEBサイトの拡充等を進める。

質問 情報発信力の今までの違いはどこか。

答弁 統一性、資源の統一感にこだわり、これまで行政、移住者用、観光のホームページと別々であったものを、それぞれ一体的に拡充を進めており統一したイメージを持たせている。

戦略的視点から、単に広める、見せるではなく、誰に何を売り込むのか、ターゲット設定をはっきりさせていく。
持ち家住宅取得支援事業は3年間の実施期間で、28年度が最終年であり、成果を検証して事業の継続について判断することになる。
空き家改修は28年が2年目となり、事業も浸透に努力したい。

民生費

社会福祉費

地域福祉計画策定委員報酬

21万6千円

質問

地域福祉計画見直しのポイントと、社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」との連動はどのようになるのか。
社会福祉協議会の組織の改編の形態と目的は。

答弁 地域住民の福祉向上を目指し、策定委員会で協議し、社会福祉協議会の地域福祉活動計画の見直しと連携して策定していく。
社会福祉協議会の組織の改編は、事務効率化を図るため事務局長を専属にすることとしたもの。

乳幼児医療費助成事業

965万4千円

質問

乳幼児医療扶助費で小中学生分114万5千円増加の要因と、今後の医療予防の取り組みについて。

答弁 増加要因は、小中学生において事業が浸透し、疾病等が軽い段階での受診が増えたためと認識している。
医療予防については、各種予防接種の啓発を考えている。

心身障害者福祉費

介護給付・訓練等給付費扶助費

1億3750万円

質問

介護給付、訓練等給付費が

毎年増えている要因は。

答弁 障害支援事業所が1か所から4か所に増え、対象者増となったためと認識している。

質問

壮警町第4期障害者福祉計画で増えることを想定し、それに基づき予算が計上されているが、町での適正な数値はどこで判断するのか。

答弁 計画策定にあたっては関係事業者に加わってもらい、事業者の事業計画も参考に、町財政も考慮した上で策定委員会判断する。

衛生費

保健衛生費

689万4千円

質問

嘱託職員賃金が増となっている理由と、産休中の保健師の復職の目的は。

また、一次救急医療確保対策事業負担金が毎年増加している要因は。

答弁

現在、地域包括支援業務と地域保健業務を保健師1人が兼務で行っているが、地域包括支援業務を1人専属とし、不足する地域保健業務を担うため嘱託保健師の労働時間をフルタイム化するもの。

育児休暇中の職員は平成30年3月まで休職の予定。

一次救急医療確保対策事業負担金は1市3町で実績に同じ負担するもので、平成26年は4.9%、平成27年は5.5%と上がっているため。



更新された堆肥センターふりい機

保健センター屋根葺替・外壁塗装工事

2250万円

保健センター改修工事

1900万円

質問

歯科診療所の奥に社会福祉協議会と健康づくり係の事務所が移動し、新しく地域活動団体室が設置されるが、事務所が入口より奥になることでサービスが低下しないか。

40回の記念大会

観光客の増加でごみの量も増加！

また、地域活動団体室の利用について伺う。

答弁 事務所が奥まる事は広報等で周知すると共に、施設内に案内表示を設ける。

地域活動団体室は、一定の利用条件を示し公募を行う予定だが、現在担当者レベルで運用形態を検討、協議しており、夏頃には周知を行いたい。

火葬場及び墓地管理

119万9千円

質問 火葬場の共同設置について伊達市と協議の予定と聞くが、給食センター設置のように伊達市が設置し、運営管理費を応分負担する形は取れないのか。

答弁 建設費、維持費の負担割合は協議中で、給食センターのような手法もあると考える。なるべく建設費の負担がかられない手法を選び、3月末までに判断したい。

害虫駆除委託料

110万2千円

質問 各害虫駆除委託料の実態は。

答弁 平成26年度は186件で大半がハチの巣除去で、毒蛾の駆除は少なかった。今後、毒蛾については住民

の情報を受け、早期に対応したい。

地熱エネルギー維持管理経費

2060万9千円

質問 蟠渓地域での地熱資源開発調査は残念な結果であったが、今後当町で同じ事業は受けられるのか。

答弁 発電に必要な熱水が確保できなかつたので28年度の仮噴気試験は断念せざるを得ない。現在、複数社が地熱資源開発に興味をしめしているため、具体的な話があれば対応したい。

塵芥処理管理

8784万7千円

資源ごみ処理管理

2005万円

質問 西いぶり広域連合負担金、塵芥回収委託料、資源ごみ回収委託料の増加の理由は。

答弁 広域連合負担金は、観光客の増加によるごみの量と保守管理費の増加と、耐用年数を控え、処理施設の整備にかかるとの検討費が加算されたため。塵芥回収委託料と資源ごみ回収委託料は、収集車両の老朽化による修繕料の増と、作

業員の労務単価の上昇が要因で、回収業者と協議を行い、効率よくごみを回収し、経費節減に努めていきたい。

農林水産業費

農業委員会活動促進事業

4294万円

質問 農業委員選挙制度の主な改正と、農地中間管理機構による当町の農地集積の実態は。

答弁 農業委員の定数を町長が条例で定め、地区農業者の推薦公募により委員を選出し、町長の選考後、議会に送り選出される。

農地中間管理機構を利用した農地集積の実績はない。

堆肥センター運営事業

2953万8千円

質問 管理改善委託費の320万円の内容と、施設管理業務委託費の196万円増は一時的に増えたのか、何年も継続されるのか。

答弁 管理改善委託費は職員の生産管理方法の確立を平成28年に仕上げるためのもの。施設管理業務委託費は堆肥の利活用につながる土壌分析と施肥設計の仕組みを確立させるもので、販売促進活

動はアドバイザーと職員の旅費である。運営では副資材の購入が増額になっているが、今後は2500万円程度の数字に落ち着くと考えている。

質問

堆肥センターの生産工程を改善する事はかまわないが、そのことよって赤字が増えるのであれば基本戦略を見直す必要があるのではないか。

答弁

生産資材での経費が上がっている中で、いかに販売量を増やしていくのが課題。

今回農家用の40ℓ袋詰め販売量の伸びで利益の幅も考えられる。

支出では新作の袋代や臨時的支出も90万円含まれている。生産工程の改善で経費をどう下げていくかが課題となるため、今年度で経費の見極めをしたい。

質問

現在リサイクルシステムは副資材収集を行っていないが、当時使っていた機材を今後どう処分するのか。

答弁

ロールベアラーは修繕され使える状況になっており、希望する農業者や団体に売却するなどの方法を検討したい。

りんごまつりは今年

中小企業振興や特産品開発を支援

青年農業者組織育成支援事業補助金

15万2千円

質問 青年農業者組織育成支援事業の状況と支援のあり方について。

答弁 平成24年に町と普及センターが関わって地域農業を担う団体「YFC壮瞥」が設立されており、先進地視察や、普及センターの協力により栽培技術支援、勉強会を開催している。

今後の町農業の中心となってもうするためにも、活動の幅が持てるような支援を行っていききたい。

GAP維持継続事業補助金

21万6千円

質問 とうや湖農協が進めているGAP認証の取り組みと町の補助の内容は。

答弁 GAP認証はとうや湖農協主体で行っており、平成21年に法人認証を受け、現在農協管内で13件が認証されている。この内、町内6戸（ミニトマト栽培農家）の負担金（国際認証の維持承認に係る事務経費）を町が補助している。

りんごまつり補助金

160万円

質問 りんごまつり補助金の備品購入の内容について。

答弁 平成28年度のりんごまつりは40回の記念大会になるので、のぼりの更新、来場者用の椅子、焼肉用コンロ等を購入したい。アトラクションについては実行委員会と協議したい。

水産業費

内水面漁業支援事業補助金

50万円

質問 組合員数継続のための支援なのか、漁獲高維持の支援なのか。

答弁 洞爺湖漁協組合員の所得向上と安定的な組合及び漁獲高維持の支援。洞爺湖のワカサギは道内の中でも魚体が大きく、本州では卵が不足しているため、採卵して販売する。ヒメマスは川に遡上する個体と中島周辺の浅瀬に産卵する個体と二つあるが、中島周辺で育っている個体が大きい傾向にあり、その調査研究を行う。

商工費

中小企業振興対策（中） 小企業振興資金

900万円

質問 コンクールや試食会のイベントに参加する経費がなぜ特産品開発につながるのか。

答弁 また、農商工連携で流通、販路開拓に要する経費が含まれるのは何故か。

答弁 特産品開発では、コンクールや試食会でのお客さんの反応を見てその後の改良、改善に生かし、製品の質の向上につなげる。販路開拓に要する経費は開発だけにとどまらず、どのように売っていくルート確保まで一体的に支援する必要があるため。

質問

農商工連携と特産品開発は事業内容が共通している部分が多いので同一事業として取組めないか。

答弁 また、継続して事業が行われる場合、年度をまたいで補助の対象となるのか。

質問

特産品開発支援事業は個々の形態の特産品開発を支援するものと位置づけている。

農商工連携事業補助金はより大きく組織化された町内の農業者や商工業者に対する支援であり、対象経費は似通っ

ているが対象者を分けている。農商工連携事業は単年度のみ対象とか、一度使った団体は二度目は使えないという規定はない。

質問

平成27年に特産品開発された事業内容や、実績報告と商品のPRはされたのか。

答弁

平成27年の特産品開発事業は2件の申請があり2件が採択された。

1件は奥洞爺牛と壮瞥りんごを活用したレトルトビーフカレーが12月に完成しサムズの店頭で販売している。もう1件はワインの生産加工に支援している。

今後は開発された商品についてはWEBサイトを活用してPRをしていきたい。

質問

中小企業振興資金で取り組んだ事業内容について伺いたい。

答弁

壮瞥町起業化促進補助金では、社屋の改修工事に対し補助額は96万5千円。

住宅等リフォーム支援事業補助金では、21件の改修工事に対し補助額は168万円。

商工業活性化事業補助金は4件の申請があり、3件が認定され、2件は店内の改修と屋根の塗装、1件は格納庫の改修と塗装で補助額438万

点検を実施

スクールバス更新

8千円の実績。

海外プロモーション参加負担金

35万円

質問

観光振興の海外プロモーション参加負担金の概要について。

答弁

洞爺湖温泉観光協会と合同で台湾を北と南に分けて2年間町長がプロモーションに参加した。

今後は、富裕層が多く、新千歳に格安航空会社の就航があり、非常に期待されている市場となるタイ、シンガポールにプロモーションして行きたい。

質問

北海道の魅力として食の部分も大きいので、当地域として観光と農産物の両面で情報発信できないか。

答弁

近年、食と観光は切っても切れない関係になってきており、今後、壮瞥町の優れた農産物を東南アジアに紹介する機会を模索したい。

質問

冬期間閉鎖されている昭和南山のトイレを、年中使用できるように道に対して要望しているが、その後の経過について伺いたい。

答弁

次年度に国の再生可能エネルギー補助事業を活用して冬期間でも使用できるように改善される予定。

洞爺湖園地等管理事業

451万6千円

質問

洞爺湖園地の老朽化したトイレの改修を今後どの様に検討しているのか。

答弁

トイレは老朽化は承知しており、塗装などで対応しているが、利用者は夏場のプレジャーボートの時期に限られており、園地全体のあり方を含めて検討したい。

土木費

道路橋梁費

9400万円

質問

町道調査設計調査設計等委託料の事業規模と、橋梁点検業務負担金の総体の事業量は。

答弁

町道中島一号線1200mで、2年間で調査し、その後2年ないし3年で工事を実施したい。橋梁点検は全体で30kmあるが今回は27km分を計上している。

教育費

教育総務費

1659万1千円

質問

コミュニケーションスクールの制度とは。

答弁

平成27年度から文科省の委託事業で行っており、町内4校を指定して学校運営協議会コミュニケーションスクール制度の導入をしている。

28年度も委託研究の指定を受ければ導入を進めたい。

役割と組織は地域に信頼され地域と共にある学校づくりを進めるためのもので、学校経営の基本方針の承認と運営の意見を求める役割がある。

町としては学校評価を通じて、地域や保護者の意見を踏まえた学校運営を行っている。

学校給食運営事業

1142万5千円

質問

学校給食センターの運営経費の負担分は。

答弁

26年に47億6千万円で壮瞥町負担割合は9%弱程度見込まれると説明したが、伊達市の契約金額は46億7600万ほどで当初説明より若干少なめで決まったと聞いている。

**スクールバス運行事業
自動車購入費**

720万円

質問

現スクールバス3号車の年式と走行距離は。

また、久保内中学校が統合した後の運行体制は問題ないか。

答弁

平成14年登録で、20万km走行している。

28年度からは久保内校区はスクールバスが必要になるが3号車が更新されて円滑な運行になる。

高等学校費

地域農業科実習運営事業

841万4千円

質問

アンテナショップめぐみの実績と評価及び28年度の営業日は。

答弁

27年度の実績は17万円程度の実績で、生徒が販売を行うことで好評であったと承知している。

28年度は5月からで、毎週木曜日開設予定。

遊学館改修工事

861万円

質問

遊学館改修工事の内容は。

答弁

町道の橋梁

29年度から地域包括支援センターは町直営に

未使用の諸室を整備したい。

質問

和室機能は交流会や懇親会を想定しているか。畳は必要なのか。

答弁

水回りや畳の件も検討したい。

文化財保護等事業

227万2千円

質問

紫明苑の倒木の現状と有珠山の記録集の活用は。

答弁

樹齢300年を超えるものもあり、倒木の危険もあるので、樹木医に診てもらった所、10本程度伐採した方がよいとの指摘をされている。

有珠山の記録集は貴重な記録であり、500冊印刷し、関係機関に配布する他、町民に紹介したい。

歳入

高等学校生産物売払代

質問

高等学校生産物売払の状況は。

答弁

高校の生産物売払金は、300万円程度あり、その大半が5月の朝市（花などの種

苗）、9月の収穫祭、その他道の駅などでの販売やりんどまつり等である。

財政運営について

質問

財政調整繰入金1億3300万円を繰り入れて予算編成しているが、予算編成の厳しさについての現状は。

答弁

財政調整基金の残高は27年度末で26年度末より3千万円程度増えて6億3500万円程度となり、そこから28年度の繰り入れを引くと5億円程度となる。

基金繰り入れが必要となった背景として、本町の歳入の半分以上を占める地方交付税と臨時対策債の推移が影響していると考ええる。

町税収も28年度はインバウンドの関係で入湯税による税収増を見込んでいたが、今後税収が増えていくことは難しいと考ええる。

歳入が増えない中で、歳出の削減を考えなければならぬが、公共施設の老朽化や施設管理費用、社会福祉関係の扶助費等の増などから、経常経費として削れない。

今後、経常経費の削減を図りながら、収支のバランスを考えた予算編成が求められる。

特別会計

介護保険特別会計

3億2660万円

質問

認知症施策や生活支援サービス等の新しい事業が増え、29年度から地域包括支援センターも直営で取り組まれるが、事務量が増大し加重負担にならないか。

答弁

また、新しい事務に取り組み体制は、事務は主として地域包括支援センターと介護支援係と協力して行う。

地域包括支援センターは、現在2名体制であるが、新年度に向け、嘱託職員の確保ができたので加重負担はなく、対象者の支援にも支障をきたさないと考える。

簡易水道事業特別会計

1億3800万円

質問

近年久保内地区の水道管漏水が多く、28年度も1917万円の施設改善工事が計上されているが、この改良により漏水が防げるのか。

答弁

久保内地区での漏水箇所は、2年間で12件あり、27年度で原因調査を実施した。

その結果通常の水圧よりも高いことが影響していることが判明したため、ある程度減圧を行い、併せて高所の住宅に給水するための増圧ポンプの設置を予算計上した。

集落排水事業特別会計

2億1360万円

質問

現在取り進めている汚水処理場の機能強化事業の進捗状況と、今後の取り組みは。

答弁

機能強化事業は、24年度から6か年計画で29年度を目的に取り組んでいる。

27年度は、久保内処理施設の機械設備の更新、28年度は滝之町処理施設で設備更新を実施予定。

町内には平成4年に設置した施設もあり、経年による修繕が必要なものも生じており、当初予定にはなかったが、最終年度の29年度に組み入れて実施したい。



町の新たな特産品に

薫風



そうべつシードル作り
実行委員会 実行委員長

川南 和彦

● 特産のりんごを使用したシードル、スパークリング ジュースの作成

皆さんこんにちは。

この度は、皆さまのご支援により、そつべつシードル（りんご酒）とスパークリングアップルジュースが完成しました。

この事業の主体は商工業者と果樹農家の代表2名の計22名からなる私たち実行委員会ですが、その母体となったのは「壮警町の未来を考える若者の会」（代表金子祐一さん）です。

この会は商工会青年部OBが中心となって、今後町内人口の減少が予測される中、町の未来への危機感からできた集まりです。

会では色々なアイデアができましたが、まずは町の特産品を使って商品化しようということで見解のベクトルが定まると、メンバーのほとんどがお酒好きということも

あり、りんごのお酒、シードルはいかかということになり、すでに商品化の実績があった青森県弘前市と道北の増毛町、旭川市、深川市などの事業所を訪問し、製造、試験の他、酒税法などについても学びました。

その結果、いきなり醸造ではなく、原料のりんごが調達できれば外注で、かつ自分達のオリジナリティを充分出した製品を造れる事がわかりました。

当初弘前市の田村ファームさんが私たちの熱意にこたえて醸造を引き受けてくださったのですが、途中から田村さんがそれまで外注していた京都府の丹波ワイナリーさんにつないでいただき、製品化が決まりました。

この間、町補助金の申請、それに伴う実行委員会の設置、原料の調達、ラベルデザイン決定、販売方法や保管場所の確保を経て、2月29日に山美湖でのお披露目を開催しました。

今回は事業規模の制約から、誰にも口当たりの良いシードルを作りましたが、今後はお料理にも合いやすい、アルコール度が高く、甘みを抑えたドライなシードル作りにも挑戦したいと思えますし、何よりこの事業を継続する事で、果樹生産者の皆さんがこのりんごはシードル用と毎年意識していただける体制ができればいいなと思っています。

将来は町内に醸造工場が建ち、壮警町の新たな名物として、また新たな雇用が生まれることが私たちの最も望むところです。

スムーズな販売が事業の肝ですので、季節のご挨拶などにはぜひシードルとスパークリングアップルジュースをお使いいただければ幸いです。

個人的には、この事業を通じ若者と町の未来について熱く議論でき、友情が育まれた事が何よりうれしい収穫でした。

編集後記

ある新聞記事に考えさせられた。
一人の高校生が病の影響で片手しか自由に動かせず、靴ひもが結べない。

そこで彼は、世界的スポーツ用品企業に手紙を書く。

「一人で洋服を着ることはできるが、今でも親に靴のひもを締めてもらわなくてはなりません。自分で自分のことを全てできるようになりたい・・・」

手紙を受け取った関係者は3年を費やし、彼の夢をかなえる靴を開発し、商品化した。

「一人」のために尽力した結果、その一人だけでなく、多くの人に喜びを届けられることがある。

「皆のために」と漠然と言っているうちは、事態は動かない。

具体的に「一人」のために、心を砕き、行動することから、組織が、地域が、変わり始める。

ふと気付く、壮警町のため、地域のために、と漠然と言っている自分に。

(K・T)